

科目名	ミクロ経済学 II	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Microeconomics II	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	きはら たかし	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	木原 隆司	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	資源が希少であるために人々は選択の問題に直面しています。経済学はその選択の問題を考える学問です。本講義では、家計・企業・政府といった個々の経済主体の意思決定について考察し、その相互作用を研究するミクロ経済学の入門範囲について講義します。				
到達目標	需要の法則と需要曲線、供給の法則と供給曲線を理解し、競争市場における市場均衡の決定について学びます。消費者や生産者の合理的な行動を理解し、満足度（効用）の最大化や利潤の最大化をはかるための最適な方法である限界分析を学び、経済学の重要な尺度である余剰分析について学びます。それらのツールを用いて、競争市場が効率的な資源配分を達成することを理解します。また、市場の失敗、市場の限界があることも理解し、そのような場合には、政府の役割が必要であることを学びます。				
授業概要	この講義では、伊藤元重『入門・経済学』の前半（Part1 ミクロ経済学）をテキストとして用いながら、消費者行動や企業行動、市場や資源配分の基礎理論のみならず、市場の失敗や不完全競争の理論（できればゲーム理論も）まで、幅広く取り上げて解説します。 また、ミクロ経済学を学んでいくためには、ある程度の数学の知識（微分など）が必要です。この講義では、各回の授業で必要となる関数や微分の基礎も一緒に学びます。				
授業計画					
第1回	ガイダンス・経済学とは（伊藤第0章）				
第2回	需要と供給（第1章）				
第3回	需要曲線と消費者行動（第2章1）（I. 需要曲線とは）				
第4回	需要曲線と消費者行動（第2章2）（II. 需要曲線と消費者余剰）				
第5回	費用の構造と供給行動（（第3章1）（I. 供給曲線と費用構造）				
第6回	費用の構造と供給行動（（第3章2）（II. 利潤最大化と供給行動）				
第7回	市場取引と資源配分（第4章1）（I. 市場・価格・余剰分析）				
第8回	市場取引と資源配分（第4章2）（II. 資源配分・競争・成長）				
第9回	独占と競争の理論（第5章1）（I. 独占の理論）				
第10回	独占と競争の理論（第5章2）（I. 完全競争と独占的競争）				
第11回	市場の失敗（第6章1）（I. 外部効果）				
第12回	市場の失敗（第6章2）（II. 公共財）				
第13回	ゲーム理論入門（第8章1）（I. 「囚人のジレンマ」等）				
第14回	ゲーム理論入門（第8章2）（II. 継続的なゲーム等）				
第15回	講義のまとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 講義のPPTを事前にDownloadして、良く読んだ上で、講義に臨んでください（2時間程度）。 2. 講義後は、「重要語句」とともに、論理を理解するように復習してください（2時間程度）。				
履修条件 受講のルール	テキストに沿って講義を進めるので、テキストを購入してください。				
テキスト	伊藤元重（2015）『入門 経済学』（第4版）日本評論社				

参考文献・資料	講義用 PPT を PDF 化したものを、事前にポータルサイトにアップします。
成績評価の方法	レポート等講義への貢献（40％）・定期試験（60％）を目安として、総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週火曜日・木曜日 10：40～12：10 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	担当教員は、財務省・外務省・経済企画庁等の中央官庁の参事官・部長・課長等、国際機関の米州開発銀行（IDB）・アジア開発銀行（ADB）職員や WTO（世界貿易機関）担当の一等書記官などの職務を通じて、ミクロ経済学を用いた公共政策に深く関わってきました。この経験を学生の皆さんに伝えたいと思います。
学生へのメッセージ	「ミクロ経済学」は、公共経済学、国際貿易論、産業組織論、財政学等の「応用経済学」の基礎となり、近年は「マクロ経済学」もミクロ的基礎が必須となっています。是非、ミクロ経済学の概念と手法を習得し、幅広く応用していただければと思います。